



NPO PTPL “ともいき” 便り No.152

平成30年（2018年）8月7日発行

■立秋（りっしゅう） 平成30年8月7日から8月22日までの節気

8月7日から「立秋」の節気に入ります。暦の上では秋になります。しかし、今年は全国各地（世界各国も）で異常といえる連日の猛暑。気温が40℃超えも珍しいことではなくなりました。

新暦（グレゴリー歴：今の私たちが使用している暦）と旧暦（二十四節気七十二候）では約1か月のずれがあります。

普段は二十四節気の季節感はその時期の兆しを感じられますが、今年は期待薄のようです。予報でも厳しい暑さが当分続くとのこと、いつなったら秋の気配が訪れるのでしょうか。本当に待ち遠しく思われる今日この頃です。

さて、この節季中には子どもたちにとっては楽しい夏休み。夏の甲子園も始まりました。素晴らしい思い出をつくってほしいですが、くれぐれも熱中症対策を忘れずに過ごしてもらいたいものです。

●今、鳥取の「レトロ観光列車」に注目が集まっています。

鉄道のことを「汽車」と呼ぶのが一般的な鳥取県だそうです。JR西日本が7月1日に山陰線の鳥取―出雲市駅（島根県出雲市）間で運行を始めた「あめつち」と、第三セクター・若桜（わかさ）鉄道が3月4日から県東部の路線で運行している「昭和」というネーミングも日本ならではの、外観もレトロで品格がある二つの観光列車が鉄道ファンのみならず多くの支持を得、半年先まで予約で一杯とのことだそうです。

工業デザイナーの水戸岡鋭治さんによると、地方鉄道の観光列車がヒットする条件は「懐かしさを組み込むこと」を挙げ、「モダンなものは沢山あるが、古いものには人が手間ひまをかけたソフトが組み込まれている。それが心地よい」この感覚が人気としてあげられるようです。まさに、古きよきものに新しい感覚を取り入れるという、私たち NPO が提唱するジャパネスクにつながるものと

思います。

この夏休みの間、全国の観光列車をテーマにした旅もいい思い出づくりになるでしょう。

ちなみに私はSL派です。数年前、東京から大阪まで在来線（東海道線）で行った際、静岡県の金谷駅でSLをみて、途中下車してSLが出発するまで見ていたことがあります。私が小学生のころにはSLは現役でした。トンネルに入ると窓閉めなければ煤だらけになると注意されたのが、今では楽しい思い出です。

鳥取県人ではありませんが、列車というより汽車のほうが旅情を感じます。皆さんはいかがですか？

立秋までは「暑中見舞い」でしたが、立秋からは「残暑見舞い」になります。いかにも、自然の移ろいを大切にしている日本人ならではの感覚ですね。

正月に出す年賀状と夏に出す暑中見舞いあるいは残暑見舞いは、久しい人に近況報告する手短なツールであり、特に手書きにするとメールなどがない、心温まるものです。この風習は残したいですね。

8月6日は「広島平和記念日」、8月9日は「長崎原爆の日」、そして8月15日は「終戦記念日」です。もう73年が経ちます。今の日本の発展は多くの人々の犠牲の上に成り立っています。今を生きる人々は、せめて、この3日は黙祷をして、戦争について考えてもいいのではないのでしょうか？

私は、今年も8月15日は靖国神社に行き、英霊の御霊に感謝の意を表します。まだまだ、厳しい暑さが続きます。皆さんくれぐれもお身体ご自愛いただき、この夏をお過ごしください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●この夏、感じたこと。ジャパネスクを思う。

私たちは、人と自然が共に生きる「ともいき」、共に生み出す「ともうみ」、共に幸せに生きる「ともさち」を大切にして生きてきました。これらは個々別々のものではなく、密接に関連しつつ、融和し、複合しながら、私たち日本人の心のうちに存在しています。そして、そこに貫かれているのは、大いなる自然

のもとにあつて、人も生きとし生けるものも共に和む「和の精神」です。
それは、私たちの季節感やものの感じ方、宗教的心情やものの見方も根源です。
NPO PTPL が提唱する“ジャパネスク”と呼ぶ感性や美意識はその結晶です。
激しく変動する現代の国際社会において、日本の本質「ともいき」「ともうみ」
「ともさち」そして「和」、ジャパネスクを思うとき、欧米近代を超えた未来への
可能性を強く感じ、これこそ国際的な普遍性を持つ次世代の価値観ではない
かと思えるのです。地球市民すべてが願う「ともさち社会」への基本となる価値
観であろうと考えます。(教育、政治、経済、科学技術、環境、エネルギーなど、
さまざまな分野において、各国の協力を得て、「ジャパネスクの世界観」に
基づいた施策を実行していければ・・・。)

※「ジャパネスク」のメニュー「ジャパネスク語り」には115の項目の文章が
記載されています。ぜひ、お時間があるとき、ゆっくりとお読みください。

<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●日本のみならず、世界でも異常気象が発生している模様です。この異常気象の根本原因は何なのでしょう？ 当然、地球温暖化問題もあるのでしょうか、それだけではないと思われます。いずれにしても、人間活動が原因だということとは明らかです。この厳しい暑さの中ですが、各人が考える時ではないのでしょうか？ それと今年の電力量が持つかどうか心配です。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp